中学地理プリント（書き取り）
日本の自然・防災 No.8

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／20

1. 扇状地の扇端部分において、地下水が湧き出し、昔から人々が生活の拠点としてきた場所を何という？
2. 険しい地形の日本アルプスにおいて、かつて山頂付近を削り取ったとされるものは何という？
3. 地震の発生に伴って起こり、沿岸部に甚大な被害をもたらす巨大な波を何という？
4. 入り組んだ海岸線が特徴で、津波が押し寄せた際に波が集中し、被害が拡大しやすい地形を何という？
5. 沿岸部に津波が到達することを防ぐために築かれる、海からの波を食い止める壁状の構造物を何という？
6. 河川の氾濫が発生した場合に、浸水が予測される区域のことを何という？
7. 入り組んだ海岸線が特徴のリアス海岸の穏やかな湾内で、カキやホタテなどを育てる産業を何という？
8. 地球の表面を覆い、互いに押し合ったり沈み込んだりすることで地震の原因となる岩盤のことを何という？
9. 北から流れる親潮と南から流れる黒潮がぶつかり、多くの魚が集まる豊かな漁場となる海域を何という？
10. フォッサマグナの内部に位置する、日本の最高峰の火山を何という？
11. フォッサマグナの西側の境界線として知られる、北から南へ走る線状の断層帯を何という？
12. 千島列島方面から南下する、水温が低い海流を何という？
13. 海底で発生した地殻変動によって海面が急激に持ち上がり、沿岸に押し寄せる巨大な波を引き起こす自然現象の発生源を何という？
14. 日本アルプスを構成する3つの山脈のうち、飛騨山脈の別の呼び名を何という？
15. 夏に親潮の影響で沿岸に発生し、北海道の太平洋側で農作物の冷害の原因となる霧を何という？
16. フィリピン沖から日本列島の南岸に沿って北上する、流れが速い海流を何という？
17. 地表を流れる水が地下に浸透しやすく、水はけのよい扇状地の土地を利用して作られる、農業形態を何という？
18. 過去に繰り返し動き、将来も再び動いて地震を起こすおそれがある、地層のずれを何という？
19. 自然災害の被害範囲や避難場所などを地図上に示したものを何という？
20. 日本アルプスの山々が遮ることで、日本海側に大雪を降らせ、地域による気候の差を生み出す風を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「日本の自然・防災」のプリント一覧がひらきます